



全被造界のいのちを心にかけて

2021年1月

関わりの意識を深め、抑圧の連鎖システムの解体に向けて
取り組めます。
2019 総会の決意

クモの巣と抑圧のシステム

サリーハーバー、CSJ 修道会リーダーシップチーム

クモは、巣を張って餌を収穫するのです。



クモの巣は、美しいものです...



...しかし、時には目に入りません。



それで、何が起きているのか目に入らない小さな昆虫やブヨは、罠にかかるのです。

抑圧的なシステムは、規範として、しかも美しい手段で社会組織に暗示され、誰もがそれに追いつけます。しかし、このシステムの主な目的は裕福で強力の特権的な人々に「滋養」をもたらすことであるという値はわかりません。

倫理学者のメリー・エリザベス ホブグッドの 著書『解体特権』は、世界の支配システムを理解するのに役立ちます。

“...私たち自身をも含む特権グループは、「適切な」支配や従属的な階級、人種、性別・性同一性及び役割の社会化制度を構築し、人々を利用します。そしてこれらの

適切なアイデンティティと役割は、人々が何を意味し、どんな価値があると考えているのか、どのように行動するのか、社会の利益を受ける権利を感じるのか、矛盾のうち不釣り合いの負担をかけていると、自分自身を責める度合を持ちます…“

これらの役割は複数の手段で再現され、階級主義、人種差別、白人至上主義、性差別、同性愛の人に対する偏見など 私たちを悩ませる多くの「イズム (悪の象徴)」を増強し、その考えを持続するのに役立つと、彼女は述べています。この皮肉の一つは、この「イズム」によって不利な立場に置かれているグループは、一般的にその団体が制度を設け、それらの力を失うためにどのように働いているかを認識しているということです。ホブグッド博士は、維持された不正は直接の犠牲者だけでなく、社会の全ての人に害を与える文化的価値の状態になると指摘し、「階級、人種、性別、ジェンダーのシステムは、これらの価値観が、少数の既得権益のみに役立つ社会で規範的地位を達成し、すべての人の選択を制限し、すべての質を低下させる関係を可能にする」と述べます。倫理学から神学の分野に変わったヨハン バプティスト メッツは、「危険なメモリー」を思い出させます。イエスはご自分の時が来たとき、言葉と行動でご自身の特権を使い立ち上がりました。イエスは、全ての人々が愛と尊厳を受け、地球を保護する社会システム、神の国を明白にしたことです。聖オスカーロメオのことばには、「神のみ心に従って世界を構成すること」と記されています。これらの抑圧システムとそれに共謀する私たちは、どのように応じましょうか。

以下の3点の組み合わせは、継続的な手段で神の国の価値を生きるために役立ちます。

1. 私達の世界を支配する権力、富、特権のシステムのウェブ認識を高めることは、変化への第一歩です。
2. システムの機能を遮り、変更する方法について自分自身を教化します。
3. 私たちが参加するグループで、神の国の価値観を明白かつ規範的にするために他者と協力します。

これは新しいものではなく、私たちの時代に、そして明確にそれについて新たに考えるという総会の指針です。私たちの新年の決意は、より意識し、より優れたことを学び、より創造的に活動して、世界を変えるために繋がりを持って祈り、働くようにすることです。すべての人が自由になることができるように、私たち全員を巻き込むウェブを開く方法を学びましょう。